



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月10日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	108,751	9.7	3,644	23.9	3,883	20.9	1,765	—
24年2月期第3四半期	99,095	4.0	2,940	△5.2	3,212	△1.4	101	△93.8

（注）包括利益 25年2月期第3四半期 2,217百万円（119.7%） 24年2月期第3四半期 1,009百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	63.04	—
24年2月期第3四半期	3.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	72,325	38,703	47.9
24年2月期	65,222	37,223	51.0

（参考）自己資本 25年2月期第3四半期 34,628百万円 24年2月期 33,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年2月期	—	12.00	—		
25年2月期(予想)				12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	140,000	4.3	5,200	8.2	5,500	6.3	2,600	82.0	92.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
- (注) 変更の詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	32,267,721株	24年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	4,261,351株	24年2月期	4,259,787株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	28,007,108株	24年2月期3Q	28,008,515株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額は、従来、千円単位 (単位未満切捨て) で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位 (単位未満切捨て) で記載することに變更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、長引く景気の低迷と円高傾向に加え、政治の混乱が続き、険しい状況にありました。

当食肉業界におきましても、消費者の低価格ニーズに応じるために企業努力と競争力強化がより求められております。

このような経営環境の下、当社グループは、低成長の経済状況に対応した営業体制と食肉の生産から小売・外食事業までの一貫経営を推進して、経営体制の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、牛・豚の生産事業の拡充を目指した事業開発を推進中であります。また、鍋物シーズンを迎え、定番の「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズに加え、「レトルトアルミ鍋」シリーズや「おうちバル」シリーズを発売し、内食需要の高まりに応えました。さらに、生食用牛肉の加工・調理基準改訂に対応した昨年6月の個食用の「タタキ」の発売に続き、同年9月には個食用の「ユッケ」を開発し、業界でも大きな話題となりました。食肉等の小売及び外食事業においては、小売部門では新規デベロッパーとの取り組みによる新規出店や既存店活性化の継続、外食部門ではグループ経営強化として、一昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーンの確実な業務移管と競争力向上のための施策が功を奏しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,087億5千1百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益36億4千4百万円（前年同四半期比23.9%増）、経常利益38億8千3百万円（前年同四半期比20.9%増）、四半期純利益17億6千5百万円（前年同四半期は、投資有価証券の評価損計上等により1億1百万円）となりました。

なお、前年同期との比較において、特殊な要因として前年第3四半期連結累計期間には東日本大震災及び食中毒事件の発生、また株式市況の変動による保有有価証券の評価損（22億5千3百万円）の発生がありました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は870億3千5百万円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は34億6千7百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は151億5千6百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は6億9千9百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は54億3千6百万円（前年同四半期比64.3%増）、セグメント利益は2億3千6百万円（前年同四半期1億7千6百万円のセグメント損失）となりました。売上高及びセグメント利益の増加は、主に東日本エリアの既存店の業績回復並びに焼肉レストランの新店効果及び一昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーン事業の連結取込によるものであります。

④その他

売上高は11億2千3百万円（前年同四半期比49.3%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比71.5%減）となりました。売上高の増加は、主に昨年2月にグループ化した倉庫事業の連結取込によるもので、セグメント利益の減少は、主に東日本大震災直後にあった飲料水特需の消滅によるものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて71億2百万円増加し、723億2千5百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて56億2千2百万円増加し、33億2千2百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて14億7千9百万円増加し、387億3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年4月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,554	15,671
受取手形及び売掛金	12,104	15,149
商品及び製品	5,474	8,674
仕掛品	1,933	2,409
原材料及び貯蔵品	622	1,058
その他	2,235	1,576
貸倒引当金	△132	△130
流動資産合計	37,792	44,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,976	18,232
減価償却累計額	△10,974	△11,417
建物及び構築物(純額)	7,001	6,815
土地	9,056	9,072
その他	12,376	13,155
減価償却累計額	△9,355	△9,551
その他(純額)	3,021	3,603
減損損失累計額	△575	△515
有形固定資産合計	18,503	18,975
無形固定資産		
のれん	238	140
その他	247	226
無形固定資産合計	485	366
投資その他の資産		
投資有価証券	4,948	5,266
その他	3,622	3,541
貸倒引当金	△130	△234
投資その他の資産合計	8,440	8,573
固定資産合計	27,430	27,915
資産合計	65,222	72,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,729	11,319
短期借入金	4,261	4,258
未払法人税等	1,407	813
賞与引当金	597	940
その他	4,544	4,446
流動負債合計	18,541	21,778
固定負債		
社債	640	430
長期借入金	5,842	8,430
退職給付引当金	795	805
役員退職慰労引当金	144	161
その他	2,036	2,016
固定負債合計	9,458	11,843
負債合計	27,999	33,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	20,121	21,214
自己株式	△2,985	△2,987
株主資本合計	33,386	34,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	662
繰延ヘッジ損益	2	7
為替換算調整勘定	△537	△519
その他の包括利益累計額合計	△97	150
少数株主持分	3,934	4,074
純資産合計	37,223	38,703
負債純資産合計	65,222	72,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	99,095	108,751
売上原価	82,879	90,242
売上総利益	16,216	18,509
販売費及び一般管理費	13,275	14,865
営業利益	2,940	3,644
営業外収益		
受取利息	19	17
受取家賃	65	96
受取配当金	53	53
負ののれん償却額	42	42
その他	224	244
営業外収益合計	405	454
営業外費用		
支払利息	71	104
持分法による投資損失	3	5
不動産賃貸原価	23	45
その他	36	59
営業外費用合計	134	214
経常利益	3,212	3,883
特別利益		
貸倒引当金戻入額	33	—
賞与引当金戻入額	19	—
受取補償金	—	49
その他	45	14
特別利益合計	98	63
特別損失		
固定資産処分損	9	46
減損損失	40	19
店舗閉鎖損失	35	18
投資有価証券売却損	111	—
投資有価証券評価損	2,253	—
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	100
ゴルフ会員権評価損	—	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	—
その他	22	0
特別損失合計	2,589	194
税金等調整前四半期純利益	720	3,752
法人税等	581	1,788
少数株主損益調整前四半期純利益	139	1,963
少数株主利益	37	198
四半期純利益	101	1,765

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	139	1,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,069	226
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	△203	21
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	870	253
四半期包括利益	1,009	2,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,050	2,013
少数株主に係る四半期包括利益	△41	203

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年3月1日至平成23年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	80,034	14,999	3,308	98,343	752	99,095	—	99,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,453	396	101	4,951	3	4,955	△4,955	—
計	84,488	15,396	3,410	103,294	756	104,051	△4,955	99,095
セグメント利益又は 損失(△)	3,297	670	△176	3,791	30	3,822	△881	2,940

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△881百万円には、セグメント間取引消去△140百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△741百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	87,035	15,156	5,436	107,628	1,123	108,751	—	108,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,599	14	86	4,700	48	4,749	△4,749	—
計	91,634	15,171	5,523	112,329	1,172	113,501	△4,749	108,751
セグメント利益	3,467	699	236	4,402	8	4,411	△767	3,644

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△767百万円には、セグメント間取引消去△44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。